

暑い夏が続きましたが、子どもたちは夏祭りや花火大会など、たくさん楽しい思い出ができたようですね。園でも、毎日の遊びや活動を通して、子どもたちの成長を感じる場面が増えてきました。

今年度から本格的に取り組み始めた「廃材制作」では、初めて触れる素材に戸惑う姿も見られましたが、今ではそれがイメージをふくらませ、自分なりの作品づくりを楽しんでいます。朝のサークルタイムでは、自信作を発表したくてたまらない様子で、名前を呼ばれるのをじっと待つ姿がとても微笑ましいです。



保育環境も少しづつ見直し、常設のおもちゃスペースを増やしました。子どもたちが自由に遊びを選び、じっくりと遊び込めるようにしたこと、「おままごと」や「着せ替え人形」などのコーナーが大人気です。お友だちとのやりとりの中で、「おとうふくくるよ。」「もうじかんだよ。」「〇〇できたの、えらいね。」といった、お家の方の真似かな?と思えるような言葉がたくさん聞こえてくるようになりました。

片付けの際には、担任の声かけを真似して「おかたづけのじかんですよ。」とお友だちに伝えてくれる姿も。生活の中で少しづつルールや流れを理解し、園での約束ごとを守ろうとする意識も育ってきています。「〇〇はしていい?」という質問に対して「だめ!〇〇だから。」と理由を添えて教えてくれる子も増えてきました。お給食の時間にもぎやかです。好き嫌いが減り、食べる量が増えたことで、「おかわりが売り切れ!」なんてこともしばしば。頼もしい姿に、私たち担任も嬉しくなってしまいます。

9月からは、これまで月齢ごとに行っていった活動から、クラス単位での取り組みが増えていきます。10月の新渡戸祭に向けて「プロジェクト保育」もいよいよ山場を迎え、ボディペイントを始めとして9月は毎週、新しい素材に出会えるよう準備を進めており、子どもたちの反応が今から楽しみです。生活面では、それぞれのペースに合わせてトイレトレーニングを進めています。また、10月の衣替えに合わせて、ボタンの留め外しの練習も始まります。ポロシャツなど、ボタンのある衣服のご用意をお願いいたします。(詳しくは別途ご連絡いたします。)脱いだ服をたたむ練習も、子どもたちの様子を見ながら取り入れていきます。この時期は、おもちゃの取り合いなど、いさかいも増えてくる頃です。一人ひとりの気持ちを大切に受け止めながら、子どもたちが言葉で思いを伝え合えるよう、丁寧に仲立ちしていきたいと思います。納得して仲直りする経験も、大切な学びの一つ。安心して様々な挑戦ができる環境を整えながら、引き続き成長を見守ってまいります。



2学期の目標

- ・着脱など、簡単な身の回りのことが出来るようになる。
- ・簡潔な言葉で、自分の気持ちを相手に伝えようとする。

